

展示案内 4人の作家によるアート作品

CUK RERA(チュク レラ)

秋の風 / Autumn Winds

作家

荒木 繁 ARAKI SHIGERU

作品概要

季節は9月の初め。空は晴れ渡り、穏やかな風が吹く秋の日に、サケが力強く川を遡上してくるイメージを表現した作品。



ぬし

Master

作家

故・貝澤 幸司 KAIZAWA KOJI (1962-2014)

作品概要

アメマスが、海の底で葉巻をくわえながらパソコンを上げ、釣りの疑似餌であるルアーを検索している。釣り好きだった貝澤氏らしい、ユーモアたっぷりの個性溢れる作品。



retar(レタラ)

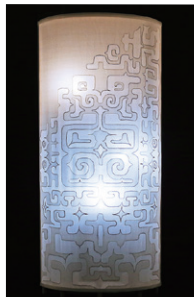
白い / White

作家

貝澤 珠美 KAIZAWA TAMAMI

作品概要

オリジナルデザインによるアイヌ文様を、白い布にグラデーションが施された糸で刺しゅうした作品。ほのかな光が文様を照らし出し、見る角度によってさまざまな表情を見せてくれる。



KENI TUK(ケニ トック)

芽吹き / Sprout

作家

下倉 洋之 SHIMOKURA HIROYUKI

作品概要

大事な人を立て続けに亡くして、しばらく手を動かすことができなかったという下倉氏。友人の助けもあり、生み出すことができた作品で、「長い冬を越え新たに命を爆発させる、その起点にある作品」と語っている。



【アイヌ文化を発信する空間ミナパとは】

アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりと、道内のアイヌ関連施設の情報を発信する場です。

天井にはアイヌ文様が描かれ、音や映像を使った演出のほか、道内作家によるアート作品の美しさや力強さを間近で見ることができます。また、時間表示や天気予報などの身近な情報をアイヌ語で発信しています。

アイヌ民族の歴史や文化の魅力を感じられる空間に、ぜひお越しください。

展示案内 シンボルオブジェ

IWOR-UN-PASE-KAMUY(イウォルン パセ カムイ)

その場所を見守る尊い神様 /

Revered deity who protects each person's sacred spaces

作家

貝澤 徹 KAIZAWA TORU

作品概要

アイヌ文様を彫り込んだ木の柱は、北海道平取町二風谷を流れる沙流川の下流域の水田から出土した樹齢400~500年の埋もれ木。その木の上で、シマフクロウが大きく翼を広げている。コタン(村)の守り神、コタンコロカムイ。私たちを見守りながら、新しい時代に向かって羽ばたいている。



【ご利用案内】

所在地 / 地下鉄南北線さっぽろ駅構内
(北改札口と南改札口の間)

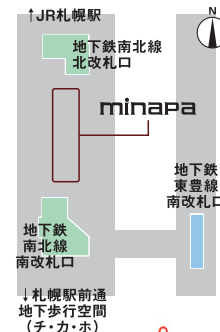
時間 / 9:00~22:00(入場無料)

上記時間以外にも地下鉄営業時間内はシンボルオブジェ、4人の作家によるアート作品を観覧できますが、ライトアップはしていません。あらかじめご了承ください。

【アクセス】

- JR札幌駅西改札口より徒歩3分
- 地下鉄南北線さっぽろ駅北改札口
または南改札口より徒歩1分
- 地下鉄東豊線さっぽろ駅南改札口より徒歩3分

発行: 札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課
☎011-211-2277



さっぽろ市
02-D03-19-1898
31-2-1269

アイヌ文化を発信する空間

minapa

ミナパ

ミナパ-minapa-は「大勢が笑う」という意味のアイヌ語
ここを訪れる皆さんに笑顔になってほしいという願いが込められています
現代に息づくアイヌ文化を感じてください

Ainu Cultural Space "minapa"

"Minapa" means "crowds of people laugh" in Ainu.

This name encompasses our hope that every person who visits
this space will have a smile on their face.

See how Ainu culture lives and breathes in the modern world.

SAPPORO

[空間全体に広がるアイヌ文様]

天井に美しいアイヌ文様を施したパネルを設置。樺太・千島・道内各地(日高地方など)のアイヌ民族の着物や帯の文様をモチーフにしています。

[メインシアター]

アイヌ語の天気予報やクイズ、アイヌ文様アニメーション、シンボルオブジェメイキング映像などを上映。

クイズの時間表示や、天気予報の地名・月日・曜日には、新たにアイヌ語で表現したものがああります。詳しくはホームページで確認できます。

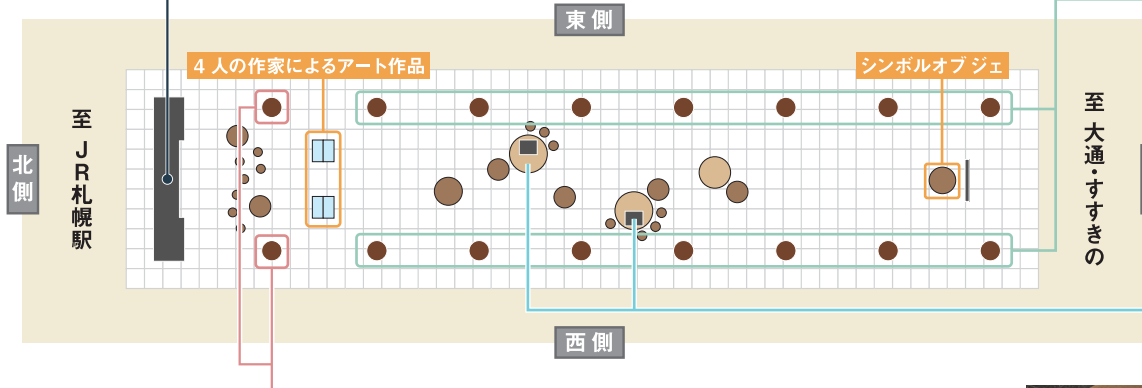


監修:北海道大学アイヌ・先住民研究センター
北原モコットウナン准教授

[アイヌ文様アニメーション]

フランス人作家ボリス・ラベ氏が、アイヌ民族の着物の文様をもとに制作した作品「SIRKI(シリキ)」をメインシアターで上映。アイヌ民族の芸術性への敬意を表した作品です。小さな文様が伝統音楽ウコウウのリズムの中で躍動します。

作品は全部で
4種類あります



[タッチパネル]

アイヌ文化やアイヌ工芸・装身具を紹介。また道内のアイヌ関連施設情報やイベント情報も検索できます。

アイヌ関連施設情報は、ウェブサイトのQRコードが表示されるので、お手持ちのスマートフォンなどで興味のある施設の位置情報等を持ち出すことができます。



[カムイの大樹]

空間を囲む柱を大地の力を吸って成長する14本の大樹に見立てカムイの森を表現。木の装飾が施された柱は、メインシアターやタッチパネルの天気予報で紹介する道内14地域の気温と連動して色を変えます。そばで耳を傾けるとカムイの声が聴こえてきます。



[ハコニワコタン(テーブルシアター)]

2か所のテーブルに、18世紀のアイヌ民族の伝統的な生活を再現したCGアニメーションを投影。四季や時刻に連動してアニメーションが変化します。

村での暮らしがうつる「チセとコタン」、狩猟や和人との交流がうつる「森と海」。アニメーションに手をかざすと解説が表示され、その動作音や動物の鳴き声が聴こえてくる体験型コンテンツ。



ホームページでは、展示内容をより詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

ミナバ 検索

